

B

SUPER★BEST TRANCE

@CK

ミーハー？ それでもいいじゃないか。 要はそこからどこへ向かうか、これが大事。

トランスの、いわゆるコンピアルバムにおいてはレーベル各社がシノギを削る時代。avex traxも当然その渦中、なのである。そんな中、「Cyber TRANCE」でマイノリティだったトランスを一気に大衆レベルへ押し上げた同社が新ブランド「SUPER★BEST TRANCE」をリリースしたのは、先駆者のプライドと底力か。

そのリリースパーティで言うトランスは、ユーロビートからジャーマン・ダッチのエビクトランスの流れを汲んだもの。不躰に言ってしまうと「ミーハートランス」で、客も同じカッコして似たような連れとツルんで…その現状に対し、オーガナイザーの言葉を借りれば「知ってるナンバーで盛り上がってくれるのは嬉しい。でも本心を言えば、トランスもいいけど、壁作らんとんでも聴いてくれ！」なのだ。だが、クラブ入門者にとっては間口の広いイベントでもある。ここからクラブカルチャーを掘り下げるきっかけになるかもしれないのだから。

A. 「ノリとか勢いだけでなく、自分のスタイルを確立して遊んでもらいたいね」と、ゲストDJ・YOU氏。同じカッコしてノリだけで楽しむ若モンよ、成長しろってことです。B. そう、マハラジャが健在の頃からずっと変わらない良音の伝道師はこの人、DJ・HIBIKI氏。出番が終われば、サウンドチェックに動しむ真方へ。大人です。C. トランス系イベントといえば、やっぱりいました新名物センターガイ…。でもさすがにマンバギャルはいなかったD. 今宵のイベントをオーガナイズするdela productionのKEN BOW氏。関西を代表するDJでもある。「トランスもテクノもハウスもかけるし、色々なイベントへ行って下さい」。E. 「Chibaちゃん〜」と黄色い声を受けていたのはDJ・Chiba-Chaps。ん？チュッパチャップス舐めてた客が多かったのは名前と関係あるんですか？ F. トランス系着メロを配信する「CARモード」もイベントに協賛。その長谷川氏(右)はオートメッセのディレクションもこなすヤリ手

C

D

A

E

F

